

ロウヤガキなど50点

あすまで安中

安中市の磯部老鴉柿愛好会(高田義一会長)は3、4の両日、磯部温泉会館で第2回老鴉柿展を開く。

同会は、園芸用に人気が高まっているロウヤガキの魅力を広めようと、安中周辺の愛好家で作る磯部盆栽愛好会の有志が昨年結成した。

実が色づいた盆栽をアレンジした席飾りなど、50点余りを展示する。午前9時から午後5時まで。入場無料。

作品展示や芸能発表

きょうから富岡市民文化祭

富岡市と市教委は3、4の両日、市生涯学習センターで、市民文化祭を開き、手工芸や文芸、生け花、身障者・園児の作品展示を行う。このほか音楽・芸能

のステージ発表、茶会も開かれる。

同文化祭の関連行事として7日まで、市立美術博物館で書画、市まちかど遊YOUプラザではきり絵をそれぞれ展示している。

ダンス講習会に 参加しませんか

5日まで募集

安中市スポーツダンス協会
は、同市の磯部温泉会館で開く

「社交ダンス初級者講習会」の参加者を募集している。

ダンスの基本ステップを2カ月にわたり指導する。午前の部は7日から毎週水曜日、午後の部は6日から毎週火曜日に行う。募集は5日までで、各部とも定員は先着10人。

講習は無料で、教材費1200円。申し込みは協会事務局の登坂ウメ子さん(☎090・2468・3906)へ。

発明工夫の楽しさを学ぶ「知的財産特別授業」が、高崎市金古町の児童養護施設・フランシスコの町(小野陽常施設長)で開かれた。弁理士の羽鳥亘さん(前橋市北代田町)ら前橋北ロータリークラブ(戸所仁治会長)の会員が先生となり、電子紙芝居での授業や工作

体験で指導した。施設を日ごろ支援している同クラブと、日本弁理士会関東支部(筒井大和支部長)の共催。「十年後、二十年後の日本のエジソンを育てたい。そのためきっかけづくり」(羽鳥さん)が目的で、施設の子供たち約五十人が受講した。



電子紙芝居などで発明の楽しさを学んだ知的財産特別授業

パソコンを使った電子紙芝居は羽鳥さんの説明と合わせ、同会関東支部のスタッフがキャラクターの吹き替え役を務め、発明や特許の意味を分かりやすく教えた。工作体験ではビー玉をボールペアリングのように利用して、回転の仕組みを学習。同クラブの会員十人が各グループに分かれて熱心にアドバイスした。

育て日本のエジソン

高崎の児童養護施設

発明の楽しさを学ぶ